

キャラクター名
犬鳴 吾郎 (いぬなき ごろう)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン エグザイル		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	探偵
	オプショナル		年齢	17	性別	男性
覚醒	憤怒	衝動	殺戮	初期侵食率	35 %	
出自	貧乏	経験	秘密	邂逅	友人(敷島あやめ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
仮定推論展開			-	-		②E+3
実証する弾丸	射撃	7r	8	16		①③④⑤⑥"重圧"+ E+12 E:59~0
-----	射撃	8r	8	16		①③④⑤⑥"重圧"+ E+12 E:79~60
-----	射撃	9r	8	16		①③④⑤⑥"重圧"+E+12 E:99~80

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ボタン型カメラ	抜歯ペンチ
腕時計型カメラ	
ペン型カメラ	
デジタルカメラ	
ビデオカメラ	
ボイスレコーダー	
盗聴器	
GPS発信機	
双眼鏡	
スマートフォン	
サイフ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
敷島あやめ	P 庇護	N 嫌気		
矢神秀人	P 純愛	N 劣等感		
大門アギト	P 感服	N 嫌気		
月社志貴	P 憧憬	N 憐憫		
神城カレン	P 信頼	N 隔意		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	E+2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv"ノイマン"								
骨の銃	3	E+3	マイナー	至近	-	自動	-	
効果: 骨の射撃武器を作成(A t k:Lv+5命中:-1射程:20m)								
うごめく弾丸	1	E+2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 射撃に効果「重圧」を付与(1シーンにLv回)								
コントロールソート	1	E+2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 射撃を精神で判定								
コンバットシステム	3	E+3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果: 射撃判定のダイス+Lv+1"射撃"								
マルチウェポン	1	E+3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 同じ技能で扱う武器の攻撃力をふたつの合計して使用可								
確定予測	1	E+4	メジャー	-	-	-	80↑	
効果: 組み合わせた判定に対してのリアクションのクリティカル値+2(1シーンにLv回)								
生体侵入	1	E+4	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 他者の体内に入り込むエフェクト。ただし対象は戦闘不能や就寝中など意識のない状態ではなければならない。あなたは他者に入り込んでいる状態では隠密状態となり、宿主が移動した場合、同時に移動する。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

《データ》
 犬鳴 吾郎はUGN職員同士から生まれた、天性のUGNチルドレンだ。
 両親から"一般人"として生活するための教育を施されており、レガイト"ウィルスやオヴァード"のような超常の力についての存在はしばらくの間秘密にされてきた。
 当時の生活はお世辞にも恵まれているとはいえない環境ではあったが、心優しい父母に囲まれていた犬鳴にとっては金では買えない価値を家庭に見出していた。
 しかし、ある時事件が起こる。
 ある日の学校の帰宅時間、犬鳴はいつものように寄り道せずに真っすぐ家に帰る。
 だがそこには、犬鳴を迎え入れてくれる玄関も、家も、父も、母も、すべてが炎上していた。
 その後、犬鳴は別のUGN職員に引き取られ、そこでレガイト"ウィルスやオヴァード"の存在を知り、両親は何者かによって殺害されたことを告げられる。
 「一救せない。何故父さんと母さんは殺されなければならなかったの？」
 血が脈を打ち、身を焼き尽くすほどの怒り。
 オヴァードとして覚醒した犬鳴は、己の秘められた力を使い真犯人を必ず見つけ出すことを心に決めた。
 表の顔は高校生探偵、裏の顔は両親の復讐を誓ったハンターとしてどこまでも犯人を追い詰める。

《ジャーム》
 彼の夢は叶った
 例え愛情が歪んでいようと愛しい人が隣にいる限り彼の幸福は永遠に続く
 文字通り彼と"一つ"になれたのだから

《↓経験(秘密)↓》